

(地 235)

平成30年10月11日

都道府県医師会担当理事 殿

日本医師会常任理事

石川 広己



NBCR対策推進機構 第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」の
開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、NBCR対策推進機構による第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」が開催されることとなりました。

本講習会には、本会より石川広己常任理事が講師として参画する予定となっております。講習会の開催日および締切日は、下記のとおりです。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会災害医療担当者等への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」

開催日：平成30年12月 9日（日） 9：00～17：00

締切日：平成30年11月30日（金） 定員：80名 費用：3万円

場 所：ヒューリック浅草橋ビル（ヒューリックカンファレンス ルーム5）

東京都台東区浅草橋1-22-16



30NBCR第98号

平成30年9月25日

公益社団法人 日本医師会
常任理事 石川 広己 殿

特定非営利活動法人

NBCR 対策推進機構

会長 片山 虎之助

理事長 井上 忠雄



第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」の
都道府県医師会への広報についてのお願い

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、弊機構は平成30年度事業の一環として、第4回「核テロ・核災害
対策担当者養成講習会」を別添のとおり計画しております。

つきましては、本講習会について都道府県医師会への広報をご配慮賜ります
よう、よろしくお願い申し上げます。

謹 白

問合せ先 吉田 満

電 話 03-5829-6187

FAX 03-5829-6197

E-mail : nbcn-npo@tea.ocn.ne.jp

第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」

(救命・救急医、産業医及び核災害対策担当者等が知っておくべきこと)

1級認定コース・日医生涯教育制度5.5単位認定(申請中)

主催：NBCR 対策推進機構

後援：公益社団法人 日本医師会(申請中)

開講のご案内

皆様、ご承知の通り、我が国周辺では、北朝鮮の核・ミサイル開発が急速に進展しており、数度の核実験により小型軽量化・弾頭化も現実のものとなりつつあります。また、中国・ロシア等の核近代化も進展しており、加えてテロ等の非国家組織が非通常型の核爆発装置等を作成する等の懸念もあり、万が一の場合の核災害への備えが重要になって来ております。

これらの動向に鑑み、弊機構では、昨年(2018年)の第3回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」に引き続き、第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」(救命・救急医、産業医及び核災害対策担当者等が知っておくべきこと)を企画いたしました。

今回の講習会は、第3回講習会を見直し、新しい視点から現在日本の第1人者として活躍中の新進の講師を迎え、核テロ・核災害対処に真に役立つ第1級の危機管理コース(核テロ・核災害危機管理者1級認定)と致しました。ご多忙中の折柄誠に恐縮に存じますが、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

特に今回も、長崎原爆の影響について長いこと研究中の朝長万左男先生の講義を頂くことに致しました。

平成30年10月吉日 NPO法人 NBCR 対策推進機構

会長 片山 虎之助

理事長 井上 忠雄

第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」について

ー救急・救命医・産業医及び核災害対策担当者が知っておくべきことー

1級認定コース・日医生涯教育制度 5.5 単位認定(申請中)

主 催 : NPO法人 NBCR対策推進機構

後 援 : 公益社団法人 日本医師会(申請中)

■ 趣 旨

日本周辺では、北朝鮮の核開発の進展や中国・ロシア等の核保有国が存在し、又核兵器事故・核テロ等人為的な事故災害等の可能性も否定できず、核関連災害への備えの重要性が指摘されております。核災害でも、他のCBRE災害と同様に、予防や生じた場合の検知・警報、防護、除染、医学的措置の中でも特に医学的対応が重視されます。

平素から核テロや核災害に対する関連情報を収集・評価し、物的・人的措置を講じ、教育・訓練を行い標的化を防止して適切な対応力を養成しておくことが重要です。最新の情報・経験を踏まえて核テロを含む非通常型核災害対策等を見直し各種の厳しい現実を想定した訓練・講習を実施する必要があります。

日本では、2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定しました。ポストンマラソン爆破事件や過去のオリンピック時に生じたテロ事件等を考えると安全・安心を確保して東京オリンピックを成功させるためには官民挙げてテロ対策等の予防に万全を期さねばなりません。

今回は、第3回の講習会の見直しを行い、新しい視点からの現在核防護を中心とした、日本の第1人者としてご活躍中の新進の講師を迎え第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会」を下記の通り開催いたします。この講習会は核テロ・核災害対処に特化した第1級の危機管理コースです。

■ 講習対象者

救命・救急医師、産業医、病院等医療危機管理担当者、保健所職員、消防関係職員、企業危機管理担当者、自治体危機管理関係者、その他講習研修を更新の希望者

■ 認定カード発行

講習修了時認定試験を行い、「核テロ・核災害危機管理者認定カード(1級)」を発行し当機構での認証を行います。

■ 講習期間等

	日 時	受付締切	定員
期 間	平成 29 年 12 月 9 日(日曜)9:00~17:00	11 月 30 日(金)	80 名

■ 細 部

- ※ 核テロ・核災害対策担当者養成講習会カリキュラム 付紙-1
- ※ 申 込: 「申込書」によりFAXでお申込み下さい。 申込書 : 付紙-2
- ※ 場 所: ヒューリック浅草橋ビル(ヒューリックカンファレンス ルーム5)
(JR浅草橋西口徒歩5分) 講習会場案内図 : 付紙-2
(〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 (Tel.03-5822-5971))
- ※ 締 切: 先着定員になり次第申込を締め切ります。
- ※ 順 延: 最小催し人員数15名以下の場合は延期し順延の通知を致します。
- ※ 費 用: 3万円 (個人正会員: 2万円、団体会員: 1.5万円)

付紙一1 カリキュラム

日	時 間	科 目	講 師
12 月 9 日 (日)	09:00～09:10	※ オリエンテーション	弊機構理事長 工学博士 井上 忠雄
	09:10～10:00	1、災害と医療 —核災害対策の重要性— (0.5単位)	(公社) 日本医師会常任理事 (災害担当) 石川 広己 先生
	10:00～11:00	2、核兵器防護の基礎知識 3、長崎原爆被爆体験 (1単位)	NBCR対策推進機構 理事長 (元陸自化学学校長) 井上 忠雄 (元第101化学防護隊長) 副理事長 加藤 高明
	11:00～11:50	4、EMP効果とその防護対策 (0.5単位)	㈱NTTデータ顧問 (元陸自化学学校長) 鬼塚 隆志 先生
	11:50～12:40	休 憩 (昼 食)	
	12:40～13:30	5、核防護対策・防護機材 (0.5単位)	帝国繊維㈱ 顧問 (元陸自化学学校長) 岩城 征昭 先生
	13:30～14:30	6、核と放射線防護 (1単位)	杏林大学教授 高度救命・救急センター長 山口 芳裕 先生
	14:30～15:30	7、核・放射線の医学的対応 (1単位)	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 執行役 明石 真言 先生
	15:30～16:30	8、核被曝者の診断と治療 (1単位)	日赤長崎原爆病院 名誉院長 朝長 万左男 先生
	16:30～16:35	休 憩	
	16:35～16:55	9、※ 試 験	
	16:55～17:00	※ 受講者修了書付与(核テロ・核災害対策担当者養成講習会)	
生涯教育：合計5.5単位			

付紙一2 第4回「核テロ・核災害対策担当者養成講習会申込書

申込締切	平成30年11月30日(金) 先着順80名様		
申込先 FAX	03-5829-6197		
申込者(団体名)等			
参加者 氏名 (ふりがな) ご記入は、楷書にて わかりやすくご記入 下さい	氏 名	所 属	職 名
所在地	〒		
連絡先	電話番号：	FAX 番号：	
組織区分 ○でお囲みください	NBCR 対策推進機構： <u>個人正会員</u> ・ <u>団体会員</u>		
	日本医師会： 所属地区名 ()		
	官公所属： <u>自治体</u> ・ <u>警察</u> ・ <u>消防</u> ・ <u>その他</u>		
要望事項			

● 講習会場案内図 ヒューリック浅草橋ビル3F (ヒューリックカンファレンスルーム5)

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-22-16 TEL: 03-5822-5971



- 連絡先: NBCR 対策推進機構 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-7-9 大森ビル 2階
 電話: 03-5829-6187 FAX: 03-5829-6197 e-mail: nbc-ngo@tea.ocn.ne.jp
 担当: 執行役員: 吉田 満・若森 崇史

機構使用欄	NBCR
-------	------